

アンケート2

佐世保高専 JABEE 関連企業・大学院アンケート (専攻科修了生に関するアンケート)

1 調査の目的

本プログラムの「学習・教育到達目標」の各項目について、本校の技術者教育プログラムを修了した学生(専攻科修了生)が実際にその能力を身につけているか(「学習・教育到達目標」を達成しているか)を企業の直属の上司、大学院の指導教員に評価していただき、その結果を本プログラムの教育改善に資する。

2 調査対象

- ・ 企業 66名(64社)

平成 27 年 3 月から平成 31 年 3 月専攻科修了生が就職した企業

- ・ 大学院 17名(11大学院)

平成 27 年 3 月から平成 31 年 3 月専攻科修了生が進学した大学院及び本校専攻科のカリキュラムと類似している他高専専攻科の修了生が進学している大学院から抽出

3 調査方法及び調査時期

(1) 調査方法 アンケート用紙及び返信用封筒を郵送

(2) 調査期間 (企業) 令和 2 年 4 月 1 日 (水) ~ 令和 2 年 4 月 30 日 (木)

(大学院) 令和 2 年 4 月 1 日 (水) ~ 令和 2 年 4 月 30 日 (木)

4 回答数

企業 : 18 件

大学院 : 16 件

質問フォーム

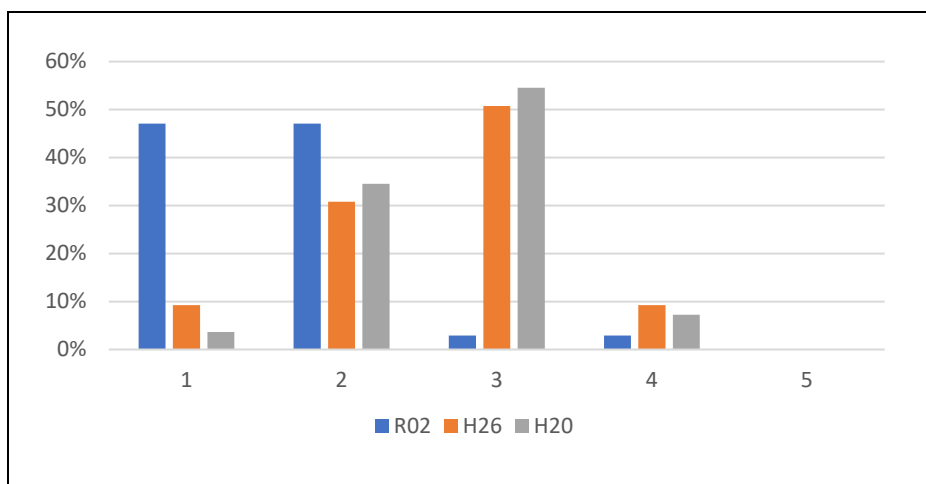
佐世保高専専攻科修了生の平均的な能力の印象についてお尋ねいたします。結果は5段階に分けておりますので、どれに該当するかを選択して下さい。目安として点数に直すと次のようになります。(非常に高い:80 点以上, 高い:70 点台, 普通:60 点台, やや不足:40-59 点, 不足:39 点以下)
各設問に当てはまる項目の枠内を塗りつぶして下さい(□→■)。

※「前回」は、平成 26 年度実施分を指す。

JABEE アンケート（修了生）

A-1-1

数学(微分積分学、線形代数、微分方程式、確率・統計など)の基礎知識を身につけて、工学的諸問題の解決に応用できる。

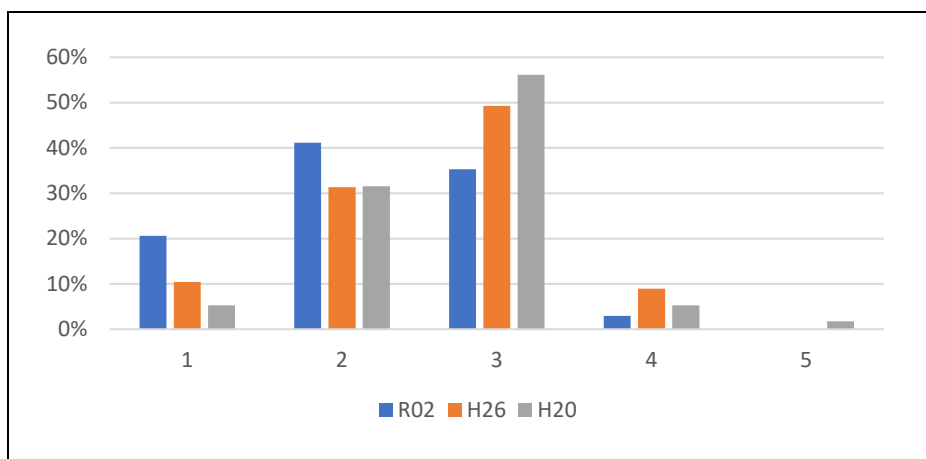


「1:非常に高い」と「2:高い」の回答が前回は、約4割程度だったが、今回は、9割以上の学生が数学の基礎知識を工学的諸問題の解決に応用できる能力が身についたと回答した。したがって、教育目標に沿った教育が適切に実施していると評価する。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足

A-1-2

自然科学(物理、化学など)の基本知識を身に付けて、工学的諸問題の解決に応用できる。

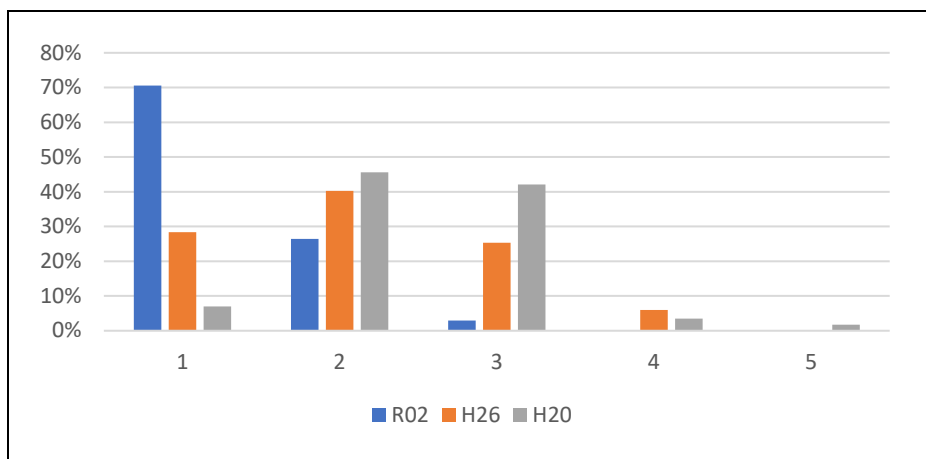


「1:非常に高い」と「2:高い」と回答した学生は約6割、「3:普通」を含めると9割以上の学生が自然科学の基礎知識を工学的諸問題の解決に応用できる能力が身についたと回答していることから教育目標に沿った教育が適切に実施していると評価する。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足

A-2

情報技術の基本知識を身につけて、情報収集、実験データの解析・評価のツールとしてコンピュータを活用できる。

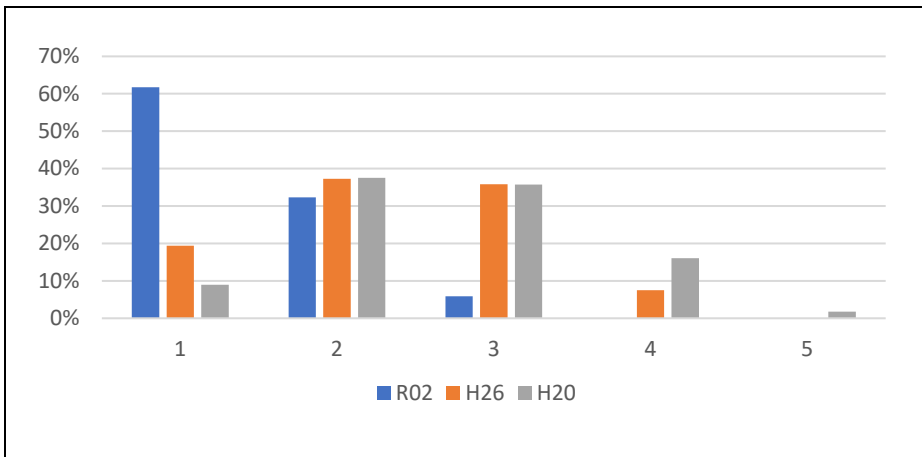


「1:非常に高い」と「2:高い」が前回調査よりさらに増加し、約9割以上の学生が回答しており、「3:普通」を含めると全学生がコンピュータを活用できる能力が身についたと回答したことから、教育目標に沿った教育が適切に実施していると評価する。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足

A-3

基礎工学の知識を身につけて、複合化したもの創りの実務における工学的諸問題の解決に応用できる。

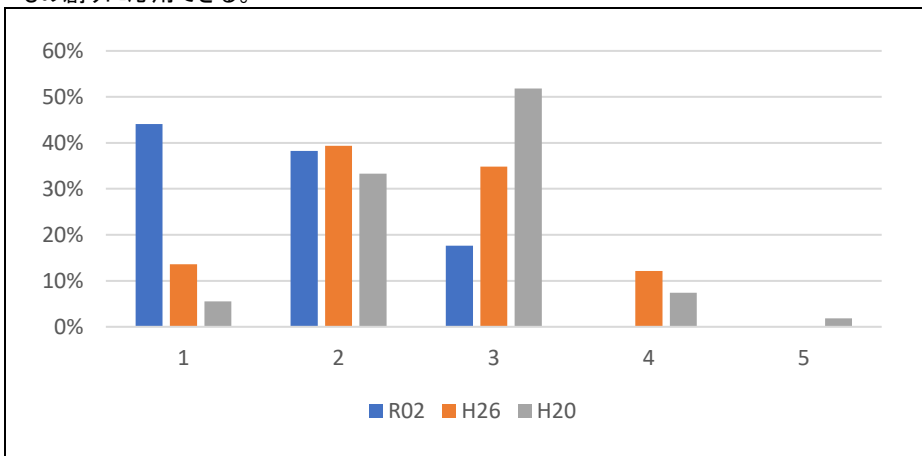


「1:非常に高い」と「2:高い」が前回調査よりさらに増加し、約9割以上の学生が回答しており、「3:普通」を含めると全学生が基礎工学の知識を工学的諸問題の解決に応用できる能力が身についたと回答し、教育目標に沿った教育が適切に実施していると評価する。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足

A-4

それぞれの専門分野におけるもの創りのための4つの専門科目群(材料・要素・設計・製造・評価・解析、複合系)の知識を身につけて、もの創りに応用できる。

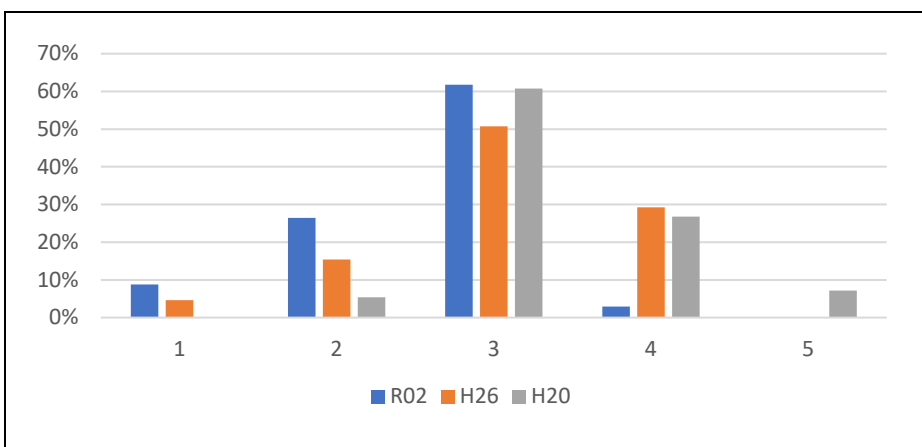


「1:非常に高い」と「2:高い」が前回調査よりさらに増加し、約9割以上の学生が回答しており、「3:普通」を含めると全学生が4つの専門科目群の知識をもの創りに応用できる能力が身についたと回答しており、教育目標に沿った教育が適切に実施していると評価する。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足

B-1

他の国の歴史的・文化的背景や国際問題に関する基礎知識を身につけて、グローバルな視点でものごとを考えることができる。

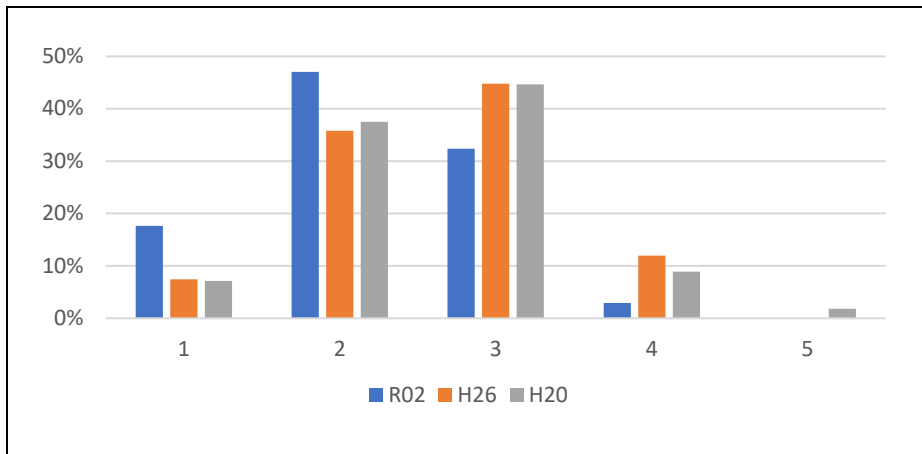


「1:非常に高い」と「2:高い」が前回調査よりさらに増加し、「3:普通」を含めると9割以上の学生が、グローバルな視点でものごとを考えることができる能力が身についたと評価する。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足

B-2

技術が自然や社会に与える影響・効果を理解して、技術者としての責任を自覚できる。

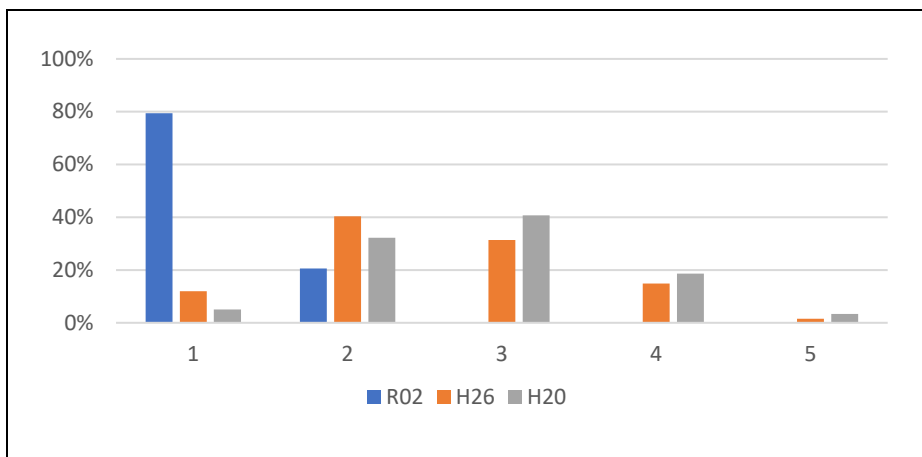


「1:非常に高い」と「2:高い」と回答した学生は6割を超えており、「3:普通」を含めると9割以上の学生が技術が与える影響を理解し技術者としての責任を自覚できており、前回から引き続き教育目標に沿った教育が適切に実施していると評価する。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足

C-1

技術的な内容を日本語により文章や口頭で論理的に説明できる。

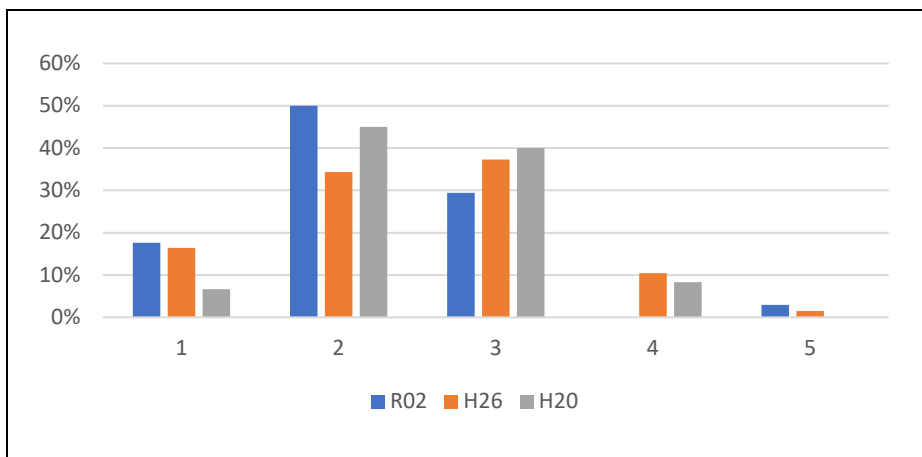


「1:非常に高い」と「2:高い」が前回調査よりかなり増加し、全学生が日本語による論理的な説明ができる能力が身についたと回答していることから教育目標に沿った教育が適切に実施していると評価する。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足

C-2

相手の質問や意見を聞いて日本語で適切に答えることができる。

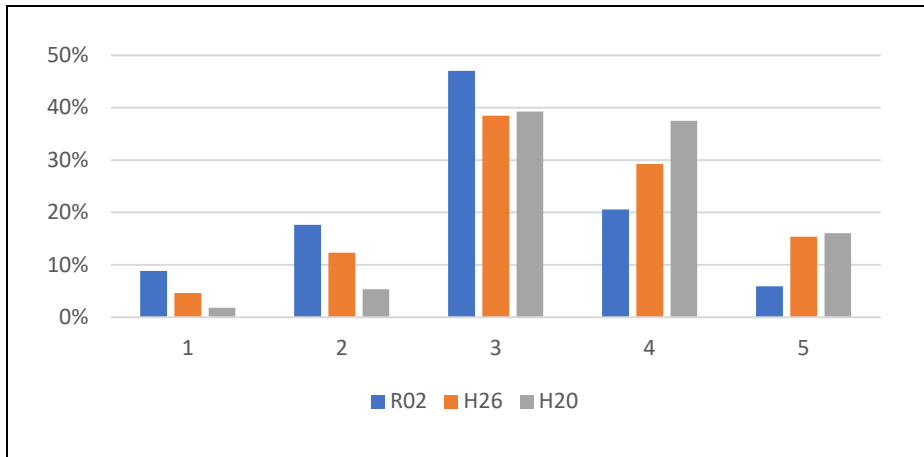


「1:非常に高い」と「2:高い」が前回調査よりかなり増加し、「3:普通」を含めると9割以上の学生が、日本語による適切な返答ができる能力が身についたと評価している。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足

C-3

英語による基礎的なコミュニケーションができる。

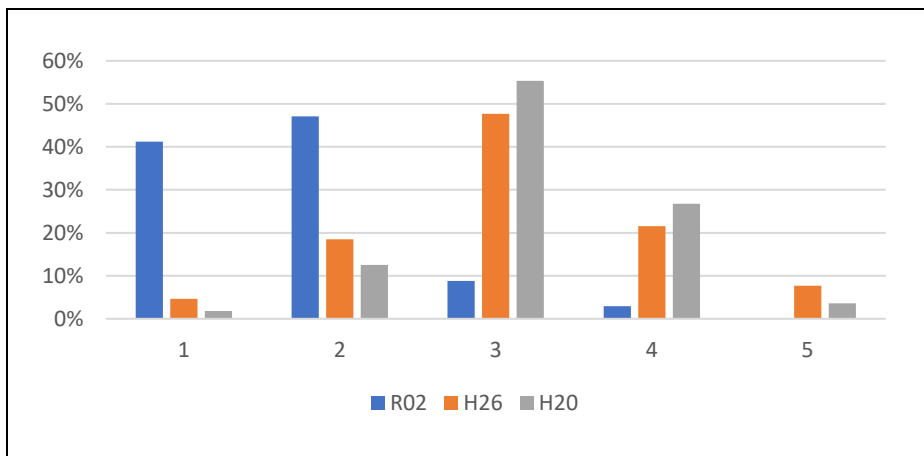


「1:非常に高い」と「2:高い」の回答は、徐々に増えており、「3:普通」を含めると7割以上の学生が英語によるコミュニケーション能力があると回答しており、教育目標に沿った教育が適切に実施していると評価する。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足

C-4-1

基礎的な技術英語の文章を読むことができる。

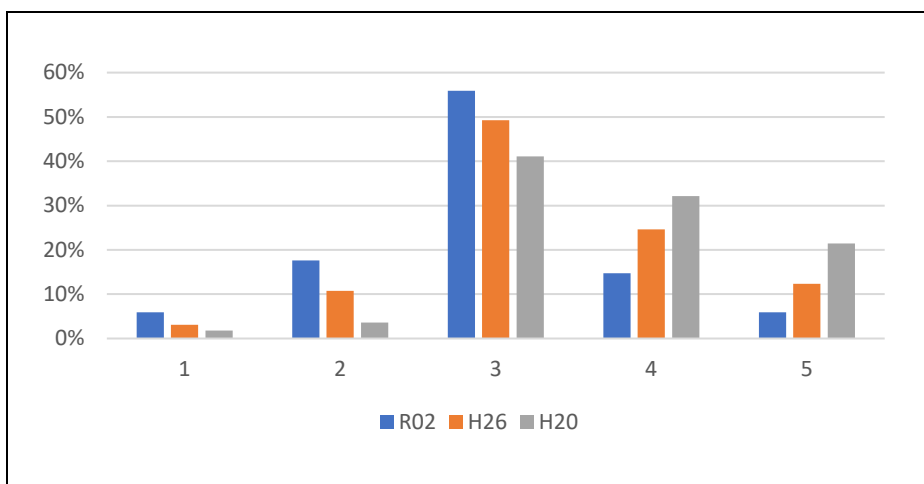


「1:非常に高い」と「2:高い」と回答した学生は約9割を占めており、前回とは60%以上改善している。また、「3:普通」を含めると9割以上の学生が基礎的な技術英語の文章を読む能力があると回答しており、教育目標に沿った教育が適切に実施され、飛躍的に改善がみられていると評価する。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足

C-4-2

基礎的な技術英語の文章を書く事ができる。

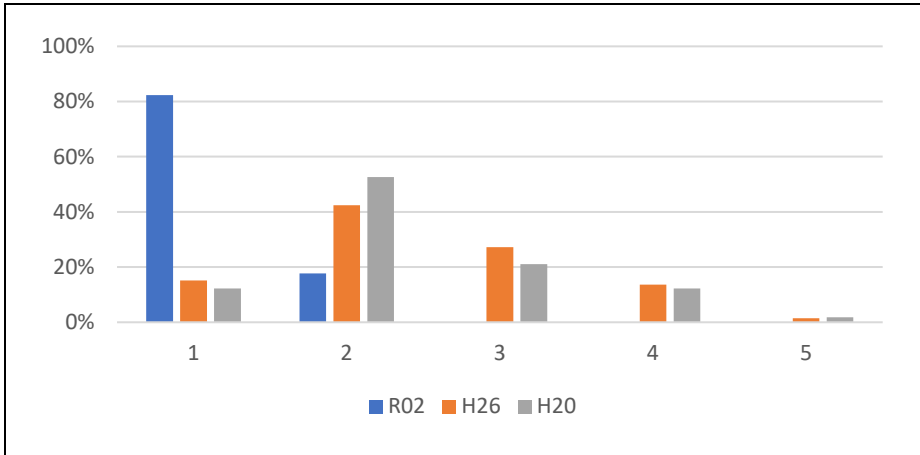


「4:やや不足」と「5:不足」と回答した学生は20%以上を占めており、前回よりは10%以上改善されているが、「1:非常に高い」と「2:高い」と回答した学生は24%に留まっている。また、アンケートごとに徐々に改善されているが、「3:普通」も含めると7割以上の学生が社会からの要求に満足していないので、何らかの対策が必要である。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足

D-1-1

自分で具体的な計画や手順を決めて基礎的な実験を実施することができる。

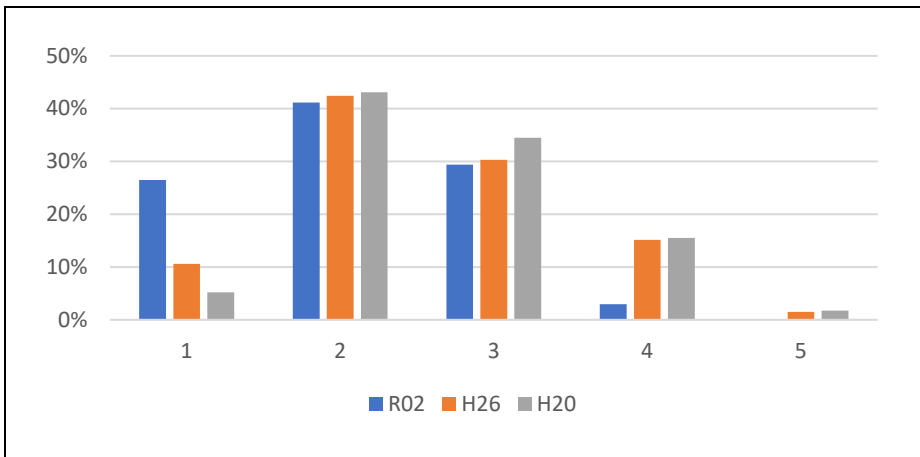


「1:非常に高い」と「2:高い」が前回調査よりかなり増加し、全学生が自分で計画や手順を決めて実験を実施することができる能力が身についたと評価しており、教育目標に沿った高い質の教育が実施していると評価する。また、前は「4:やや不足」と「5:不足」と回答した学生は16%いたが、今回は0%となり、かなり改善した。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足

D-1-2

得られた結果を正しく評価・解析して考察し、論理的に説明できる。

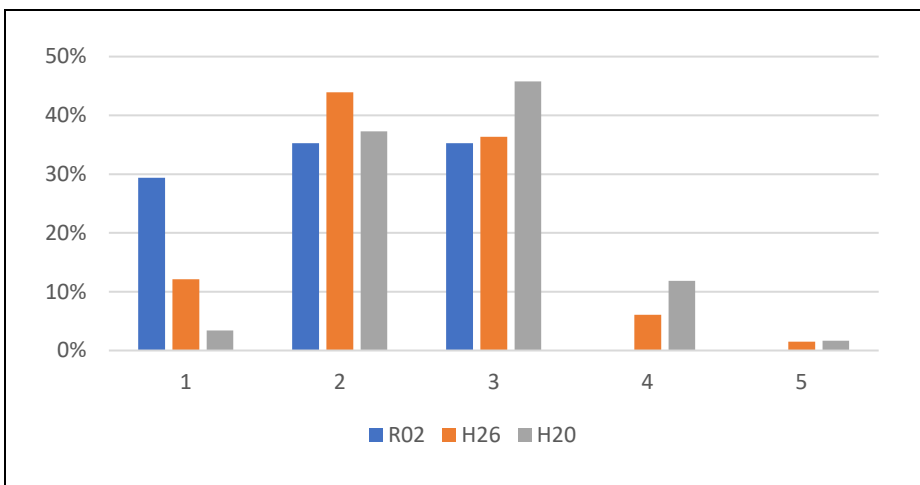


「1:非常に高い」と「2:高い」が前回より10%以上増加し、6割以上の学生が、得られた結果を正しく考察し論理的に説明できる能力を身につけていると評価していることから、教育目標に沿った高い教育水準を維持していると評価する。さらに「4:やや不足」と「5:不足」は前回より10%以上改善した。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足

D-2-1

いくつかの専門分野の知識や利用可能な情報・技術・手段を駆使することができる。

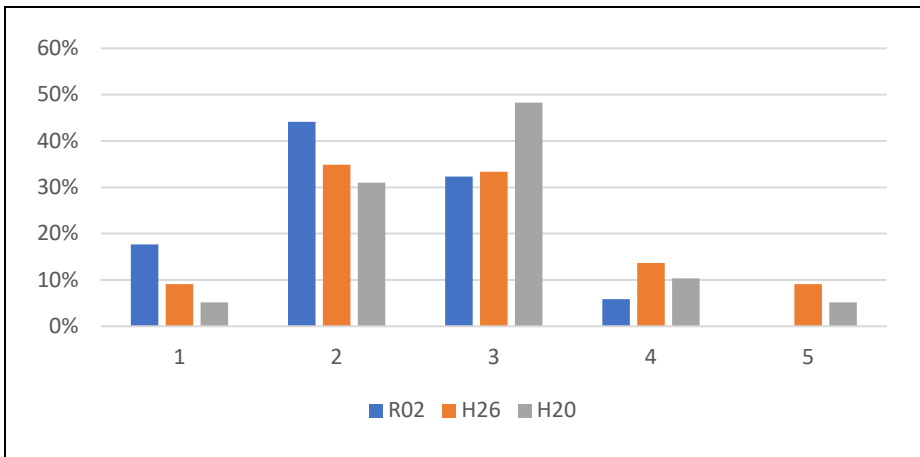


「1:非常に高い」と「2:高い」が前回調査より増加し、「3:普通」を含むと全学生が様々な知識や情報・技術・手段を駆使することができる能力が身についたと回答していることから、教育目標に沿った高い質の教育が実施していると評価する。また、「4:やや不足」と「5:不足」との回答は徐々に減少し、今回は0%となり、かなり改善した。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足

D-2-2

創造性を発揮して、調査・解析をおこない、解決策を組み立てて実行し、課題を解決できる。

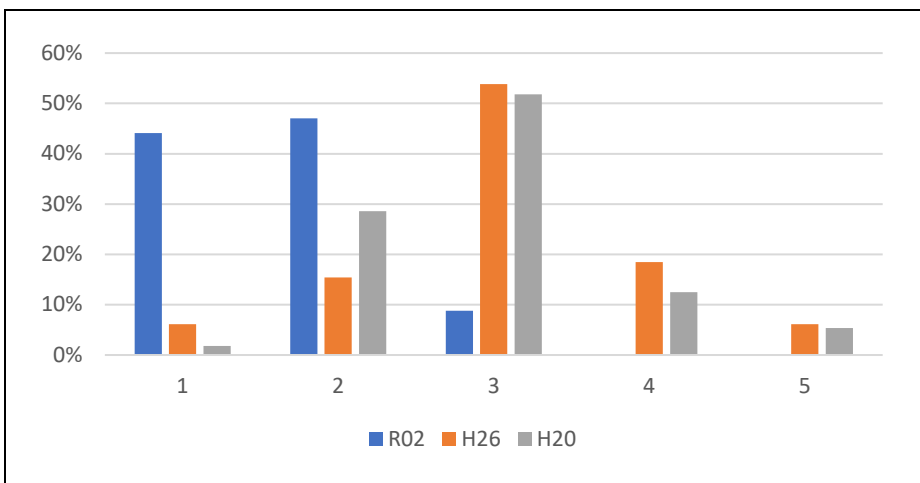


約9割の学生が、創造性や解決策を引き出し、課題を解決できる能力が身についたと評価していることから、教育目標に沿った高い教育が維持していると評価する。「4: やや不足」と「5: 不足」と回答した学生は23%いたが、今回は6%となり、かなり改善した。

1: 非常に高い 2: 高い 3: 普通 4: やや不足 5: 不足

D-3

社会の要求する課題を解決するにあたって、その内容を分析して、計画や方策を複眼的にデザインできる。

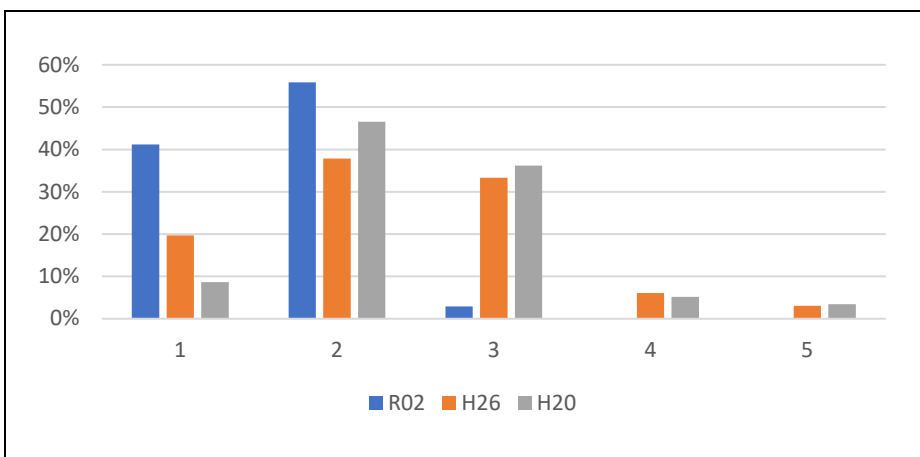


約9割の学生が、「1: 非常に高い」と「2: 高い」を支持されており、社会の要求する課題を解決するための計画や方策を複眼的にデザインできる能力があり、教育目標に沿った教育が実施していると評価する。また、「4: やや不足」と「5: 不足」が前回の24%から0%へ減少していることから、質の向上も見られている。

1: 非常に高い 2: 高い 3: 普通 4: やや不足 5: 不足

D-4

実践的能力を身につけ、技術者が経験する実務上の問題や課題を理解して適切な対応ができる。

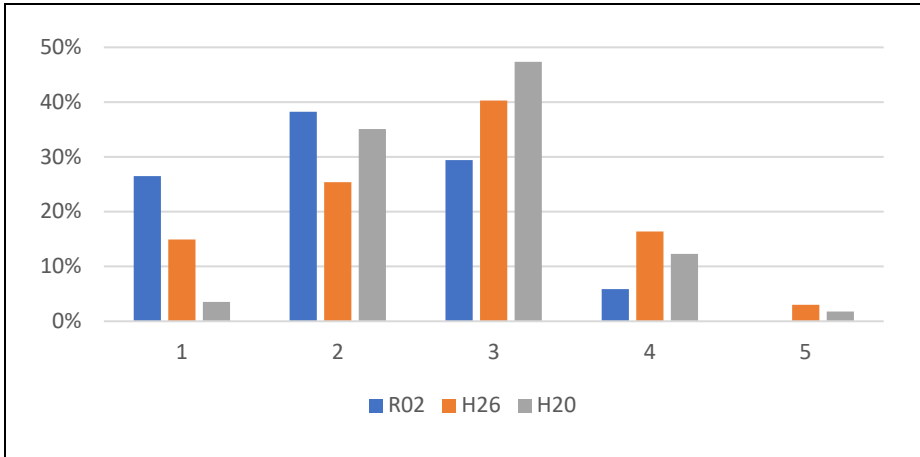


約97%の学生が実践的能力を身につけ実務上の問題や課題に適切な対応ができる能力が身についたと回答しており、教育目標に沿った教育が実施していると評価する。

1: 非常に高い 2: 高い 3: 普通 4: やや不足 5: 不足

E-1

社会の要請に迅速に対応し、科学技術の進展を先導するため、自主的・継続的に学習できる。

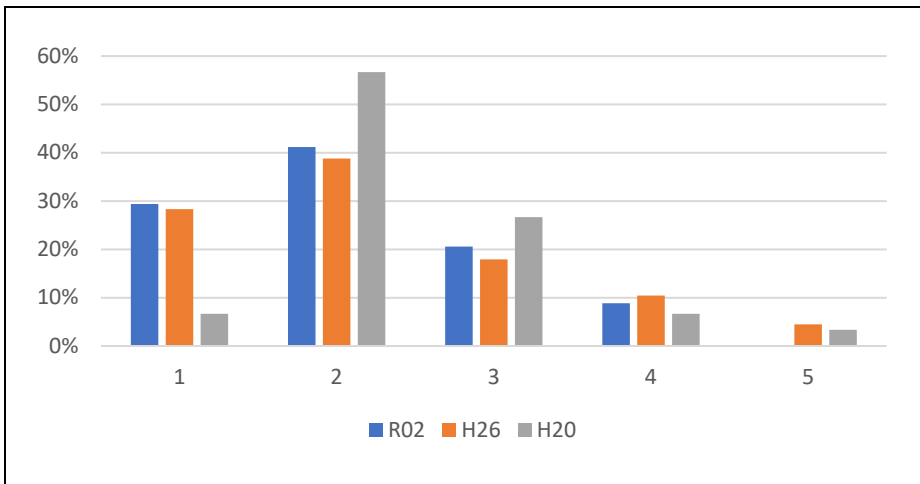


6割以上の学生が「1:非常に高い」と「2:高い」と評価され、前回の調査より20%以上増加した。また、「4:やや不足」と「5:不足」も10%以上減少していることから、社会の要請・科学技術の進展に対応するため自主的・継続的な学習ができる能力が身についたと評価できる。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足

E-2

要求された課題に対して、自立して、あるいは他の人と協力しながら計画的に作業を進め、期限内に終わらせることができる。

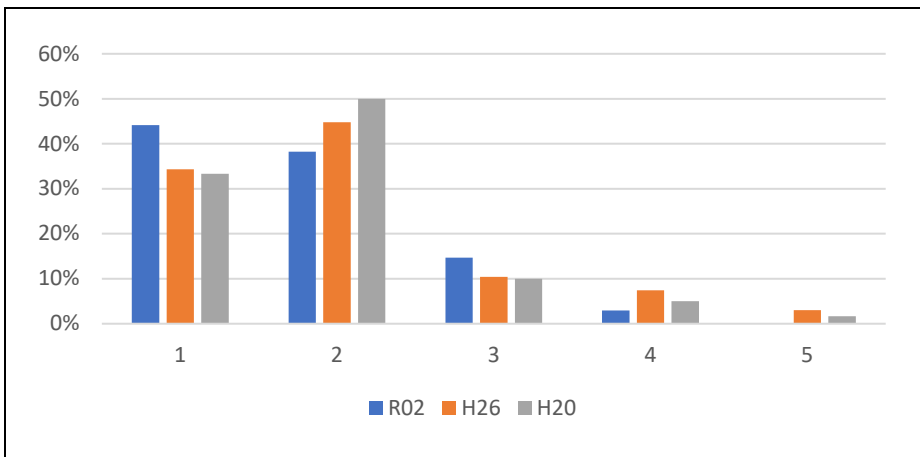


前回の調査と同様に7割以上の学生が「1:非常に高い」と「2:高い」と評価され、要求された課題に対して自立し他の人と協力して期限内に終わらせることができる能力が身についたことが分かり、教育目標に沿った教育が適切に実施していると評価する。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足

E-3

健全な心身を持ち、学内外(あるいは社内外)の人々と協調して行動できる。



前回の調査と同様に8割程度の学生が「1:非常に高い」と「2:高い」と評価され、健全な心身で学(社)内外の人と協調して行動できる能力が身についたことが分かり、教育目標に沿った適切な教育が実施していると評価する。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足